

# 漢字のうた【師範代養成コース 五段】（暗唱）

1

祇園精舎の鐘の声 諸行無常の響きあり

沙羅双樹の花の色 盛者必衰の理をあらわす

おこれる人も久しからず ただ春の夜の夢のごとし

たけき者も遂には滅びぬ 偏に風の前の塵に同じ

2

つれづれなるままに、日暮らし硯に向かひて、

心にうつりゆく よしなし事を

そこはかたなく書きつくれば、

あやしうこそ ものぐるほしけれ。

（兼好法師 『徒然草』 冒頭）

3

吾輩は猫である。名前はまだ無い。

どこで生れたか頼と見當がつかぬ。

何でも薄暗いじめじめした所で

ニヤーニヤー泣いて居た事丈は記憶して居る。

吾輩はこゝで始めて人間といふものを見た。